

暑い名古屋で学んで来ました

第48回自治体学校in名古屋(28日~29日)

七月二十八日、三十日の日程で、自治体問題研究所などが毎年行っている「自治体学校」が名古屋市内で開かれました。昨年の金沢に引き続いて参加しました。ちなみに来年は、長野県松本市で開かれる予定です。

今回は主催者より、「上越市の地域自治区と地域協議会について報告して欲しい」との要請があり、その準備をしての参加でした。

名古屋の暑さに加えて 一五〇〇人の熱気が

「参加者数は一五〇〇人」と発表がありました。メイン会場の「つるまいプラザ」(愛知県勤労会館)は大きな施設ですが、その講堂は参加者でいっぱいでした。主催者あいさつで、「暑い名古屋へようこそ」といっていましたが、それに加えて参加者の「学ぶ」熱気も会場に充満していました。

田中章史氏(自治労連副委員長)は実行委員長あいさつで、「いま地域や自治体は、『憲法改正』とセットで進め

られる構造改革の中にあつて激変しています」と述べていましたが、「憲法を真ん中において情勢や運動を学び討論しましょう」という呼びかけが、心に響きました。

憲法を真ん中に

一日目の全体会では三つの記念講演がありました。

小林武愛知学院大学法科大学院教授は、「憲法の輝く日本めざして」、改憲動向の現状を詳しく説明しました。明治憲法にはなく現憲法にあるのは「第2章戦争放棄」と「第8章地方自治」で、改憲派からの攻撃はこの二つに焦点が当てられているとの指摘や、「立

法によるクーデタ」との指摘は事態の本質を見事に表していると思えました。白藤博行専修大学教授は、地方分権を進めていく上で「憲法上、地方自治体がどう位置づけられているか」を押さえておく必要があるといわれましたが、その通りだと思いました。

神戸大学発達科学部の二宮厚美教授は、「骨太の方針2006」では「一体的」ということが何度も出てくるが、何を一体化するのが大問題だと述べ、「公共性とは本来、競りにかけれられないもの、売買できないもの」と強調しましたが、これをやるうということに小泉改革の異常さがあると思いました。

自治体学校には新潟県から二十名ほどが参加しました。一日目の夜、懇親を深めたのはいうまでもありません。



日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2006年8月6日 111
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832



雲海から昇る朝陽(31日北岳山頂より)

2日目は、24の講座・分科会に分かれての学習です。分科会は、助言者・報告者があらかじめ提出した予稿(300ページほどの冊子として全参加者に配布される。これを読んだだけでも勉強になる)に基づいて発言し、その後参加者を交えて議論・交流します。

14分科会に参加

私が報告の要請を受けたのは、14分科会「住民自治のまちづくりとコミュニティ・地域内分権」です。会場は、名古屋国際会議場の233会議室。参加者は50名ほどで、行政職員と議員が各4割、残りは住民運動の関係者という感じでした。

14分科会は、多様な参加者に加え、自治会の運営から私の地域自治組織に関するものまで、非常に広い範囲の問題を議論する場でした。司会者(自称「普通のおばさん」)も焦点

を絞るのに苦労していました。

住民自治の制度をどうするか

助言者の中田實氏(愛知甲南大学)は、1977年策定の三全総が「生活の場」に基礎を置く「平成の大合併」では、一般制度としても導入されたことを評価した上で、「町内会や学区組織と、合併によって編入された旧市町村とは、・・・制度としての重みは大変異なっている。・・・どのような区域で、どのような組織として整備していくかは、まだ不分明のところが多い」と、今後の課題であることを強調された。そして、「分権化といっても、だれがその分権を行使するのか、代表する権限はだれにあるのか」と問題提起をされました。

地域自治区と

地域協議会について報告

分科会では中田先生に続いて、佐藤三郎氏(西須磨まちづくり懇談会事務局長)は、「地縁と知縁をむすび身近な自治の仕組みづくりへ」として阪神淡路大震災を契機に吹き出した住

民エネルギーをどう組織して行ったかを報告。名古屋市の小池田忠氏(森の里荘自治会長)は、真の住民自治をめざして自立的自治会活動を進めている経験を報告。新城市の主婦前澤このみさんは、



タカネシオガマ(30日北岳にて)

日々の暮らしの中から住民自治をどう見ているかを話し、関西大学大学院生の栄沢直子さんは、岸和田市を事例に地域主体の共同と市民参加について報告しました。

中田先生の問題提起と私よりも前の報告を受けて、予稿(近々、発言要旨とともにHPに掲載予定)を少しアレンジして「上越市の地域自治区と地域協議会」上越市議会でもんな議論をしてきたか」について報告しました。

参加者からは、さまざまな角度からの質問や意見、実践報告がなされました。

都会と地方では若干の違いがあるものの、共通する問題も多く、たいへん勉強になった2日間でした。